

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数）についてお知らせします。この結果は学力の全てではなく、一部ですが、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

国語

- ◆全国及び県平均を上回っています。
- ◆すべての項目で全国及び県平均値を上回っています。
- ◆「書くこと」領域の得点率が高いです。
- ◆無回答率が低いのが特徴です。

【考察と今後の取組】

- ▽国語やその他の授業の中で、自分の考え(理由・方法・わかったこと等)をノートに書いたり、考えを友達に伝えたり聞いたりする活動を多く行っていることが効果的に働いているものと考えます。また、学年に応じた、学習の振り返りを記述する活動も継続していきます。
- ▼今後は、文中における主述関係や形容詞がどの言葉を詳しくしているのかなどの関係を捉えるのみではなく、捉えたことをもとに想像し、簡潔に書き表すことに取り組みたいと考えています。このことが「読むこと」の項目における得点率向上につながると考えられます。

算数

- ◆全国及び県平均を上回っています。
- ◆すべての項目で全国及び平均値を上回っています。
- ◆「データの活用」領域の正答率が高いです。
- ◆記述式の無回答率が低いのが特徴です。

【考察と今後の取組】

- ▽日常の授業で基礎基本をしっかりと理解させることに努めていること、毎日の家庭学習や赤ペン先生の協力を得ながら取り組んだ「がんばりタイム」において、基礎基本の習熟に取り組んだことで、子どもたちの学力が確実に高まっています。保護者の皆様、地域の皆様、いつもご協力ありがとうございます。また、記述する問題の無回答率が低いのは、根気強く最後まで解こうとする気持ちがあること、自分の考えた解き方やわけをノートに書く活動を行っているからだと考えます。
- ▼「図形」領域に関する問題をやや苦手としている児童が多いことが分かりました。各学年における図形領域の学習時に、既習の振り返りを大切にすると共に、図形の構成要素にしっかりと着目して考える場面を多く設定していきたいと思えます。

児童質問紙（全国調査）

6年生対象の全国調査には、学力テストだけでなく、児童の学習習慣や生活態度、ものの考え方などの調査も同時に行われます。たくさんの項目の中から、福津市や本校が特に大切にしている項目に絞って報告いたします。

- ◇「平日1時間以上をしている」の項目では全国平均を大きく上回っており、学習習慣がしっかりと身に付いています。家庭学習を確実にしていることは学力の定着につながっていると思えます。ご家庭におけるご支援、ありがとうございます。
- ◇「自分にはよいところがあると思えますか」と答えた子供が、全国平均を上回っています。前年度より力を入れている学級活動の時間における係活動や当番活動などを中心に、自分の活動を振り返ったり、互いに評価し合うことを通したりして、子供たちが自分のよさに気付くことができているようです。また、ふるさと学習やあいさつ運動、たてわり活動などで地域の人や異学年と関わり、認められる経験をすることで自信を付けることができているようです。
- ▼「将来の夢や希望をもっていますか」という質問では、全国や県の平均をやや下回っています。今後、現在使用しているキャリアパスポートについて、その活用がより有効となるようにしていきます。子供自身が自分の将来を考える時間をしっかりと確保したり、夢に向けて「なりたい自分」をより具体的に設定し、定期的に振り返る活動を行ったりして、自分の成長を実感できるようにしていきます。